



花園大学



同

窓

会

通

信



花園大学公式マスコットキャラクター『花まるだ』

CONTENTS

同窓会理事会報告	2
学長挨拶	4
大学ニュース	5
同窓会ニュース	8
「お元気ですか」	9

花園大学同窓会 理事会報告

2025年5月25日(日)、花園大学同窓会理事会を開催し、2024年度の事業・決算報告と2025年度の事業計画・予算が決定されました。

2024年度 花園大学同窓会事業報告

1. 同窓会関係会議

- 会計監査 4月18日 花園大学 栽松館2F第二応接室
- 4月19日 花園大学 栽松館2F応接室
- 三役会 5月 2日 花園大学 教堂 2F会議室
- 理事会 5月13日 花園大学 栽松館3F大会議室

2. 公開講演会

- 地方公開講演会
- 大分県支部
第97回公開講演会 11月10日(日)
佐々木閑花園大学文学部特別教授
大分市 J:COMホルトホール大分
- 大学公開講演会 なし

3. 支部総会参加

- 大分県支部 5月21日 別府市 「ホテルニューツルタ」
- 福岡県支部 6月 9日 福岡市 「頤和園」
- 佐賀県支部 11月11日 武雄市 「湯元荘東洋館」
- 三重県支部 12月16日 津市 「プラザ洞津」

4. 在学生対象イベント・支援活動

- 学生食堂支援
○「同窓会うどん・そば」
代金120円の内、70円を補助
年間利用数 10,758食 (参考: 2023年度9,405食)
- 新入会員歓迎
○卒業記念品
「ロゴ入りケータイマグ」・菓子を卒業生277名に贈呈
※前期卒業生10名含む
- 新入生歓迎事業支援
○新入生のオリエンテーション費用の補助

5. 同窓会通信の発行

- 花園大学同窓会通信 第109号(9月発行)
- 花園大学同窓会通信 第110号(3月発行)

6. 支部活動助成

- 申請のあった6支部へ交付
宮城、福島、三重、兵庫西、福岡、大分

7. 同窓生への慶弔電報

- 2件

2024年度花園大学同窓会決算

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(1) 一般会計

収入の部

(単位 円／▲=減)

頂	科 目	本年度予算額	本年度決算額	差 異
1	入会金	0	0	0
2	同窓会費	0	0	0
3	寄付金	0	0	0
	雑収入	18,140	22,544	▲ 4,404
5	収入 小計	18,140	22,544	▲ 4,404
6	前年度繰越支差額	20,765,901	14,966,201	5,799,700
	収入の部 合 計	20,784,041	14,988,745	5,795,296

支出の部

1	事務費	100,000	100,000	0
2	同窓会通信 制作費等	200,000	158,400	41,600
3	同窓会通信 発送費	10,000	5,300	4,700
4	通信費	30,000	29,354	646
5	新入会員歓迎費	1,500,000	1,050,516	449,484
6	会議費	10,000	2,478	7,522
7	旅費・交通費	600,000	700,500	▲ 100,500
8	消耗品費	10,000	3,168	6,832
9	慶弔費	100,000	230,111	▲ 130,111
10	支部活動補助費	1,000,000	981,329	18,671
11	在学生支援費	1,000,000	753,060	246,940
12	新入生歓迎事業支援費	1,200,000	1,200,000	0
13	名簿管理システム	400,000	356,400	43,600
14	雑費	100,000	79,100	20,900
15	予備費	100,000		100,000
	前年度未払金支払	77,445	77,445	0
	支出 小計	6,437,445	5,727,161	710,284
	次年度繰越金	14,346,596	9,261,584	5,085,012
	支出の部 合 計	20,784,041	14,988,745	5,795,296

(2) 学生急減対策積立資金

収入の部

1	学生急減対策積立繰入	0	0	0
2	前年度繰越金	37,276,495	37,276,495	0
	収入の部 合 計	37,276,495	37,276,495	0

支出の部

1	学生急減対策支援費	0	0	0
2	次年度繰越金	37,276,495	37,276,495	0
	支出の部 合 計	37,276,495	37,276,495	0

新理事紹介

2025年5月25日(日)花園大学同窓会理事会を開催いたしました。理事総数49名中、27名出席、欠席22名(うち委任状20名)で、過半数に達しており、同窓会会則第13条により、理事会は成立いたしました。

支部長交代により、新たに理事にご就任されたみなさまは以下の通りです。

北海道支部：河野 玄秀様 鳥取支部：古川 清弘様
京都(中丹)支部：大江 文童様 佐賀支部：中園 博道様
兵庫東支部：原田 太胤様 長崎支部：大石 治宣様

2025年度 花園大学同窓会事業計画

1. 同窓会関係会議

□会計監査	4月17日	花園大学	栽松館2F応接室
	4月30日	花園大学	栽松館2F応接室
□三役会	5月14日	花園大学	教堂 2F会議室
□理事会	5月25日	花園大学	栽松館3F大会議室

2. 支部総会

□大分県支部	5月22日	別府市	「ホテルニューツルタ」
□福岡県支部	6月 9日	福岡市	「じぶんどき」
□宮城県支部	6月下旬頃		
□兵庫西支部	12月頃		

3. 在学生対象イベント・支援活動

□学生食堂支援
○「同窓会うどん・そば」代金170円の内、120円を補助
□新入会員歓迎
○卒業記念品
「ロゴ入りケータイマグ」・菓子を卒業生250名に贈呈
□新入生歓迎事業支援
○新入生のオリエンテーション費用の補助

4. 同窓会通信の発行

□花園大学同窓会通信 第111号 (9月発行予定)
□花園大学同窓会通信 第112号 (3月発行予定)

5. 支部活動助成

6. 同窓生への慶弔電報

7. 同窓会費徴収システム

オンライン決済サービス「e-apply」システム利用料

8. その他

2025年度花園大学同窓会予算

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(1) 一般会計

収入の部

(単位 円／▲=減)

項	科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 異
1	入会金	2,500,000	0	2,500,000
2	同窓会費	5,000,000	0	5,000,000
3	寄付金	0	0	0
4	雑収入	22,544	18,140	4,404
5	収入 小計	7,522,544	18,140	7,504,404
6	前年度繰越収支差額	9,261,584	20,765,901	▲ 11,504,317
	収入の部 合 計	16,784,128	20,784,041	▲ 3,999,913

支出の部

1	事務費	100,000	100,000	0
2	同窓会通信 制作費等	200,000	200,000	0
3	同窓会通信 発送費	10,000	10,000	0
4	通信費	130,000	30,000	100,000
5	新入会員歓迎費	1,500,000	1,500,000	0
6	会議費	10,000	10,000	0
7	旅費・交通費	700,000	600,000	100,000
8	消耗品費	10,000	10,000	0
9	慶弔費	100,000	100,000	0
10	支部活動補助費	1,000,000	1,000,000	0
11	在学生支援費	1,300,000	1,000,000	300,000
12	新入生歓迎事業支援費	1,200,000	1,200,000	0
13	システム利用料	450,000	400,000	50,000
14	雑費	100,000	100,000	0
15	予備費	100,000	100,000	0
	前年度未払金	0	77,445	▲ 77,445
	支出 小計	6,910,000	6,437,445	472,555
	次年度繰越金	9,874,128	14,346,596	▲ 4,472,468
	支出の部 合 計	16,784,128	20,784,041	▲ 3,999,913

(2) 学生急減対策積立資金

収入の部

1	学生急減対策積立繰入	0	0	0
2	前年度繰越金	37,276,495	37,276,495	0
	収入の部 合 計	37,276,495	37,276,495	0

支出の部

1	学生急減対策支援費	0	0	0
2	次年度繰越金	37,276,495	37,276,495	0
	支出の部 合 計	37,276,495	37,276,495	0

学長挨拶

学長 磯田 文雄



日頃、花園大学の教育研究の充実発展のためにご支援いただいておりますことを厚くお礼申し上げます。

令和7年度の花園大学入学者数は264人で、令和4年度の308人から、令和5年度の320人、令和6年度367人と回復傾向にありましたものが、大幅に減少するということとなりました。特に、総合型選抜（AO）、指定校推薦等において、令和6年度の234人から152人へと減少したことが大きな要因です。この原因是、中堅の大規模大学が、これまでよりも3ランクも4ランクも偏差値を下げ、かつ、昨年よりかなり多くの合格者を出したことによるものです。また、政府の大学入学者選抜実施要項では合否判定結果の公表は11月1日以降とあるにもかかわらず、少なからずの大学が、政府の方針より大幅に早く10月に結果を公表、あるいは、6月又は7月に内定を出したのです。多くの連携する高等学校を訪問し意見を聴取しましたところ、「花園大学に対する評価が特に変わったわけではない。花園大学以外の要因で、本年度は花園への進学者が少なくなっただけ。」とのことでした。

令和8年度入学者選抜につきましては、令和7年6月3日に政府の新たな方針が示されました。その経緯及びその内容は次のとおりです。

2024年12月1日に東洋大学が、同年11月24日に大東文化大学が、個別学力検査の実施は2月1日以降という政府の方針に反し個別学力検査を実施したことが判明、政府は、2大学に対し国の基準を順守するよう指導しました。

しかしながら、年内に学力型入試を行うことは関西圏では定着した制度であることから、大学団体の要望を踏まえて年内学力テストの実施も可となりました。

新たな方針では、入学者選抜の区分を①総合型選抜、②学校推薦型選抜、③一般選抜の三区分に整理すること、①総合型選抜、②学校推薦型選抜において、教科・科目に係る個別テストを2月1日よりも前に実施することが可能となったこと、そして、その場合には、調査書等の出願書類に加え、「小論文・面接・実技検査等」又は「志願者本人が記載する資料や高等学校に記載を求める資料等」と必ず組み合わせて丁寧に評価することとされました。

合否判定結果公表の早期化については、神奈川大学が奨学金支給審査の名のもとに12月に学力試験入試を行っている、高大連携の名のもとに早期に内定を出しているなどの実態が明らかになってきております。

このように大学入学者選抜の早期化が進むことにより、高等学校における年間の教育活動や進路指導の計画に大きな支障をきたすなど様々な問題が生じています。たまりかねた高等学校は、令和7年4月25日に近畿高等学校進路指導連絡協議会名で各大学に対し、学校推薦型選抜願書受付開始期日11月1日以降という政府の方針を順守するよう要望書を送付しました。

大学入学者選抜は混乱状況にあります。花園大学としては、花園学園の総力を挙げて、この危機的状況に対応してまいります。

2024年度 学位授与式

2025年3月17日(月)、2024年度学位記授与式を執り行い、263名の学部生、4名の院生が卒業・修了を迎えました。

磯田学長は式辞の中で「書くこと」を生涯学び続けていただきたい。書くことは、思考をまとめることになります。「ふりかえり/省察」を行うことになります。書くことは人間の活動の基本です。是非、書くことを学び続けてください。」と述べられ、「私は人を信じます。特に若者の力を信じています。皆さん、苦難を恐れず、際限のない社会の「大海」へ漕ぎ出していってください。」と、はなむけの言葉を贈られました。

また、特別表彰として、学業、体育活動、芸術・文化活動などについて優秀な成績を修めた方10名に学長表彰が、社会活動、課外活動などにおいて功績・貢献があった方20名に総長表彰が贈られました。

最後に、卒業生・修了生を代表して社会福祉学部社会福祉学科の芳村亜佑里さんが「新型コロナウイルスの流行により、様々な制限があったため、私たちは不安を抱きながらの入学式となりました。入学してすぐはパソコンと向き合い続ける日々を過ごし、友達との交流も少ない状況でした。しかし、制限も緩和され、先生や職員の方々のご尽力もあって、私たちは厳しい状況下を乗り越えることが出来ました。」と謝辞を述べされました。

卒業生、修了生の皆さんのお祝いの言葉を祈念しております。



2024年度 入学式

2025年4月1日、2025年度入学式を挙行しました。今年度は学部生264名、大学院生6名、計270名の学生が入学しました。

磯田文雄学長が教職員を代表してお祝いの言葉を述べるとともに、「みなさんには、COVID-19のパンデミック、気候変動、ロシアによるウクライナ侵略、ガザ地区におけるイスラエルとハマスの衝突など、人類が危機に直面する大変な時代に高校生活を送られました。その間、いろいろなご苦労があったことと思います。それらを乗り越え、この花園大学のキャンパスに立たれたことは素晴らしいことです。みんなの努力に対し、心から敬意を表します。」と式辞を述べました。

その後、新入生を代表して臨床心理学科の明石龍哉さんが「それぞれの夢を実現できるよう、この学び舎で勉学と学生生活に精一杯励むことを誓います。」と宣誓しました。

式には、保護者・ご家族の方にも多く参列いただき、厳粛な雰囲気の中にも、大学生として新たな一步を踏み出す新入生の門出を祝うにふさわしい希望に満ちた入学式となりました。

式後は、新入生にはクラブやサークル紹介等の説明会を、保護者・ご家族の方には、後援会活動や奨学金制度、学生支援等の取り組みについての説明会を開催しました。

新入生の皆さんには、これから花園大学で出会う友人や教職員と、ともに学びあい、有意義で楽しい学生生活を過ごしていただきたいと思います。



本山早朝参拝・花まつり

5月13日に本山早朝参拝と花まつりを開催しました。栗原学園長導師のもと諷経参拝し、学生、教職員約40名が玉鳳院にて開基花園法皇様、開山堂にて開山無相大師様に手を合わせました。法要後は通常一般開放していない玉鳳院と開山堂について妙心寺法務部の方のご説明をいただき、開山堂裏にある武田信玄の供養塔にも手を合わせました。

花まつり(釈尊降誕会)は無聖館前で開催しました。本学の建学の精神である禅的仏教精神の具現化の一環として毎年開催している大学行事です。導師は横田南嶺総長に務めていただきました。洛西花園幼稚園の園児による献灯献花があり、その後般若心経を唱え、お釈迦様の御誕生と勉学向上祈願の回向を進呈しました。横田南嶺総長の法話を拝聴した後は、園児68名によるお歌の披露がありました。曲目は「こどもの花まつり」「こいのぼり」「ドレミの歌」の3曲で、元気いっぱいの歌声がキャンパス内に響きました。最後に参列者が焼香をし、花御堂の釈迦誕生仏に甘茶をかけ、式典が無事円成しました。昨年に引き続き、平日での開催のため約200名にご参加いただくことができました。



佐々木丞平先生×横田南嶺総長 特別対談

2025年5月25日(日)、花園大学歴史博物館長の佐々木丞平先生と横田南嶺総長による特別対談が行われました。

本学の関係者並びに一般の方を含む250人の参加者を前に、日本画と禅との繋がりや関わりについてお話しいただきました。

動画は以下のQRコードから
ご視聴いただけます。



進路サポート課

学生本人が納得できる進路に向けて、大切な第一歩をしっかりサポートしています。

新卒就職活動状況は、人手不足から学生の「売り手市場」が加速、「早期選考型インターンシップ」からの早期内定も確実に増加しています。一方で、採用選考は何度も機会が設けられ長期にわたることもあり、オンラインと対面を両立させたり、選考方法も企業が独自に工夫をするなど、今や「早期化」「長期化」「多様化」しているのが現状です。



進路サポート課は、進路サポートシステム「花☆サポ」(※)を活用し、目まぐるしく変化する情勢をキャッチ、本学の学生に合わせたオリジナルな就職ガイダンスやサポートガイダンスを企画、実施しています。

4回生には、5月下旬から進路状況調査を行い、その結果を元に個々にコンタクトをとり、個別相談や本学学生への採用意欲の高い多くの企業・団体の求人紹介、さらに履歴書添削や面接指導など多岐にわたる個別サポートにつなげています。

3回生には、「就職ガイダンス」や「就活サポートガイダンス」(自己分析、業界・業種・職種研究など)の開催回数を年3回から4回に増加、身近で具体的な先輩の事例を取り入れるなど、ライブ感覚でわかりやすく説明し、ステップを上がるよう就活準備を行っています。

2回生後期には、必修の基礎教育科目「学びのナビゲーション:進路を考える」と連携、15回中4回分を進路サポート課が担当し、ますます早期化する就職活動に備えるガイダンスを実施しています。

1回生前期には、必修の基礎教育科目「学びのナビゲーション:大学入門」と連携、早くから進路サポート課に親しんでもらい、進路を考える第一歩を踏み出すきっかけ作りとして、「進路について考える」ための動画を作成し提供、視聴促進をしています。

進路サポート課が大切にしているのは、学生ひとり一人との対話によるサポートです。

まずはどんな相談でも気軽に進路サポート課を立ち寄ることができるよう、ひとりでも多くの学生と関わるきっかけ作りに日々工夫を重ねています。

進路・就職状況詳細については、大学ホームページにアップしております。



※進路サポートシステム「花☆サポ」とは…

スマートフォンやパソコンから、求人検索、個別相談・支援講座参加予約、履歴書・履歴書記入例、就活マナーシートがダウンロードできる他、就活準備動画の視聴、スケジュール管理など、就職活動必須のサポートシステムです。

地域連携教育センター

京都市ふるさと納税を活用し、花園大学へご支援をお願いします。

2023年4月より、京都市へふるさと納税をしていただくと、翌年度に寄付金額の一部が花園大学へ配分されることになりました。配分された助成金は、本学の地域連携等推進事業に活用させていただきます。花園大学へのご支援をよろしくお願いいたします。

詳しくは、京都市ふるさと納税特設サイト
(<https://furusato-kyoto.jp/usage/>) をご覧ください。

京都市「ふるさと納税」受付サイトにアクセス

使い道や寄付金の用途で
**「京都の大学・学生の活動を応援
[花園大学]**
を指定してください

返礼品・寄付金受領証明書が到着

寄付金控除の手続き

税金の控除

※京都市民の方は返礼品の送付はありません。

同窓会ニュース

大分県支部総会

去る5月22日、別府市のホテルニューツルタに於いて同窓会大分県支部総会が会員20名の参加、また大学からは総務部長の鷺阪宗寛氏、同窓会事務局の坂ノ下祐大氏ご列席の元開催されました。総会では支部長廣見宗泰氏挨拶、事業報告、収支決算報告、監査報告、大学からは総務部長 鶺阪宗寛氏より大学の近況報告をしていただきました。総会終了後の懇親会では、会員同士の親睦も深める事が出来て充実した集いとなりました。



事務局 津守 清滴

福岡県支部総会

令和7年6月9日(月)福岡市博多駅前「じぶんとき」にて令和6年度の支部総会を開催しました。会員13名の参加者と大学より総務課長旭朋代様、入試課長山崎知子様、総務課主任坂ノ下祐大様のご臨席を賜りました。桑野勝巳副会長の司会により池上寛道支部長の挨拶に続き、貝野孔隆氏を議長に選出し議事が滞りなく終了しました。総会後、大学より近況報告がありました。親睦会は、今(いま)長谷(はせ)清明副会長の進行により聖福寺細川白峰老大師のご挨拶の中では、学生時代の思い出話をして頂きました。梅林寺東海大玄老大師の乾杯のご発声で親睦会が始まり、当時の大学時代の様子がよみがえり、懐かしい時を和やかな雰囲気の中で過ごすことができました。北九州からの参加の女性同窓生は「書道」のつながりの話で盛り上がり、とても楽しい雰囲気の中、来年の再会を祈念して、万歳三唱して閉会しました。福岡県内には168名の同窓生があり、各方面にて活躍されています。今年の総会も85名の方々より出欠のご返事を頂きました。これからもたくさんの方が参加していただけるように同窓会を盛り上げていきたいと思います。



事務局 山崎 公明

兵庫東支部総会

昨年11月12日(火)の定例役員会席にて、永年支部長を勤められた植木民雄氏が退任され、平成16年以来21年振りに支部長が交代し、神戸市長田区長福寺住職の私が就任することになりました。

植木氏は支部長就任以来、公開講演会をコロナ禍での中止になる迄開催され、歴代学長、教授、同窓会長を招き、花園大学の情報発信に御尽力されました。

令和7年7月11日(金)長田区内の神戸飯店にて新支部長として初めての定例会を行ない、当日は梅木真寿郎社会福祉学部長並びに坂ノ下祐大総務課主任の2名来席頂き、梅木教授より大学の資料配布の上、近況報告が行なわれ、プロ野球ドラフト候補逸材の在学生に関する話も出ました。又、坂ノ下氏よりは、昨今の通信手段として、同窓会通信は郵送費削減もあり、ネットによる配信(配達)に変更されていることの説明がありました。



このこともあり、今後兵庫県東支部同窓会会員の皆様への支部内報告は同窓会通信を以って充当したいとの提案をして、了承を得ました。同窓会ニュースでの支部報告を発信していく予定を致しております。

事務局 原田 太胤

兵庫西支部同窓会 総会・懇親会のご案内

2年に1度の兵庫西支部総会を開催いたします。

会員の皆さまの多数ご参加をお待ちしております。

総会・懇親会(懇親会は実費) 参加希望者は右記までご連絡ください。

(総会のみ、懇親会のみ参加可)

日 時 令和8年1月20日(火) 18時より

場 所 姫路駅近辺

連絡先 兵庫西支部長 越智 宏明

e-mail kaigaku-3999@outlook.jp

※11月末日までにご連絡ください



イイ ナオ ミ

伊井 尚美 様（1989年度文学部国文学科 卒業）

福岡支部同窓会に、久しぶりに参加させていただきました。今回は、参加される方が少なかったので、今までお話ししたことがなかつた方と、たくさんお話させていただき、楽しい時を過ごさせていただきました。

そのなかで、書道を学んでいた同回生が結婚を機に福岡のお寺に来られていて、書道で大変活発に活動しておられ、また僧侶になられたご子息も花大の同窓生と分かり、驚きと喜びがありました。私は真宗興正派の寺に嫁いで来ました。数年前から近所のともだち（小学生）十人ほどが寺に遊びに来るようになって、一緒に水簾や沢蟹を飼ったり、虫取りや三角ベースで遊んだりの毎日です。書は気が向いた時に楽しむだけですが、当時の水準の高い花大で、書くだけでなく、表具まで先輩の指導を受けながら出来た経験は、とても苦労しましたが貴重な体験でした。学生時代の体験が、今を豊かにしていると思います。

総務主任の坂ノ下様から書道を学ぶ学生がとても少ないと、作品の表具を店に頼んでいることを聞き残念に思いました。

今は、恵まれた家庭の子ほど、親が良いと考える習い事や体験を準備されて、その範疇で生活しています。その影響か、初めてのことをやってみようとしない子どもが、前より多くなったように感じます。

学生さんには、専門の学問だけでなく、部活動、アルバイト、研修など、初めてのことにも挑戦して、多くの体験をしてほしいと思います。自分の心をととのえ、自分の心に縛られない感性を磨いてほしいと願っています。



ホームページ、フェイスブック、エックス、インスタグラムでも大学の情報を発信しております。

The screenshot shows the homepage of the Hanazono University Alumni Association. At the top, there is a navigation bar with links for "ホーム" (Home), "同窓会報告" (Newsletter), "お問い合わせ" (Contact), "住所変更連絡" (Address Change Contact), and "会員ログイン" (Member Login). To the right, there is a QR code labeled "花園大学同窓会 ホームページ". The main content area features a large image of a classical-style building with a prominent arched entrance. Below the image, there are two sections: "TOPICS" showing four thumbnail images of newsletters, and "What's New" showing three recent news items with dates and titles.

This section displays various online presence for Hanazono University. It includes:

- 花園大学公式ホームページ**: The official university website, featuring a wooden-paneled interior view and social media links.
- Facebook**: A screenshot of the university's Facebook page profile.
- 花園大学 Hanazono Univ.**: A screenshot of the university's official Instagram account profile.
- 花園大学 Hanazono Univ.**: A screenshot of the university's official X (Twitter) account profile.
- Instagram**: A screenshot of the university's official Instagram account profile.



花園大学 同窓会通信 111号 2025.9 発行

〒604-8456 京都市中京区西ノ京壺ノ内町 8-1

同窓会事務局

電話 (075) 279-3630 (直)

FAX (075) 823-2412 (直)

E-mail dousou-h@hanazono.ac.jp